

湘南大庭地区郷土づくり 推進会議たより

第9号

2017（平成29）年3月31日
編集・発行 湘南大庭地区郷土づくり推進会議
「事務局」湘南大庭市民センター
Tel. 0466(87)1111

湘南大庭地区全体集会在開催されました！

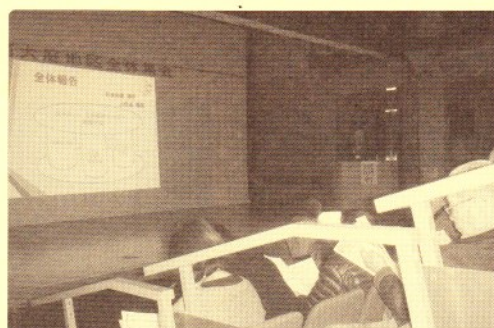
2017年2月11日（土）湘南大庭市民センター小ホールにおきまして、湘南大庭地区全体集会在開催されました。当日は、78名の住民の方にご参加いただきました。

まず、最初に、議長挨拶、委員の自己紹介に引き続き、山野邊議長より全体報告を行いました。

今年度は、委員改選に伴って推進会議は新体制となりましたが、平成26・27年度の前期推進会議から継続し、「高齢者支援」「子ども・子育て育成支援」「コミュニティ活動の活性化」をまちづくりの3本の柱と定め、「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」の実現を目指すことについてご説明させていただきました。

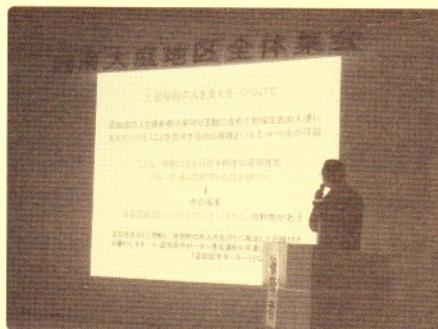


委員の自己紹介



全体報告

全体報告後は、「高齢化対策グループ」「健康増進グループ」「広報・IT活用グループ」の3つのグループごとに、現行委員の任期の2年間に湘南大庭地区の課題や問題点を整理し、今後の事業実施に向けて検討を進めていく内容を、岡田リーダー、水島リーダー、柳澤リーダーより報告させていただきました。



高齢化対策グループ



健康増進グループ



広報・IT活用グループ

つぎに、郷土づくり推進会議として、全体報告並びに部会報告の結果を踏まえ、現在取り組んでいるもの、今後取り込む事業を報告及び提案させていただきました。

- (1) 高齢者などを見守るしくみの構築（提案）
- (2) インターネットとロボットの活用（提案）
- (3) 諸団体発行の回覧・配布物の統合（報告及び提案）
- (4) 健康寿命を延ばすためのラジオ体操の普及（報告及び提案）
- (5) 健康なんでも相談事業（報告）
- (6) 健康増進公園改修事業（報告）



最後に、全体集会に参加された皆様との意見交換を行いました。
意見交換の際、出された意見は大きく分けると次のとおりです。

①活動報告について

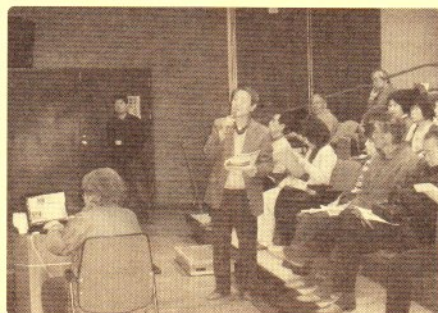
- (1) 高齢化対策については、推進会議の中間報告として述べられた自治会・町内会の役割が大きいがなかなか体制が整わないのが現状。
- (2) 地区内の高齢化に対応するためには、高齢者がITを利用できる環境整備が重要。
- (3) 湘南大庭地区郷土づくり推進会議のPRを積極的に行い、住民皆様のアイデアを結集し、行政に積極的な提案を行っていくべき。
- (4) フェイス・トゥ・フェイスのご近所づきあいによるコミュニケーションの活性化が大切だと思う。

②「みなさんができること（私たちができること）」をテーマとした意見交換

住民同士のコミュニティ活性化のために、すぐにできることややっていることについて、大きく分けると5つの手法について提案され、意見交換を行った。

- (1) 笑顔で挨拶
- (2) 上を向いて歩こう
- (3) 健康体操を広げよう
- (4) 健康麻雀で仲間づくり
- (5) ITを活用した見守り活動

これらの意見を踏まえ、山野邊議長及び各グループリーダーからは、課題解決に向けてすぐに役立つ意見や、課題解決までにはいくつかのハードルを越えないといけない課題もあると思う。本日出席の皆様をはじめ、地域の皆様からのアイデアやご意見をいただきながら、我々もみなさんと一緒になって地域課題解決に向けて考えていきたいとの感想を述べさせていただきました。

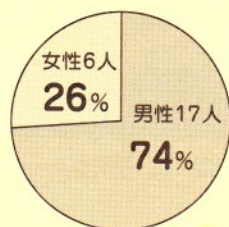


意見交換会の様子

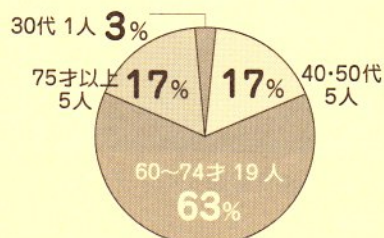
全体集会を終えて、本年度は例年に比較し、住民同士の活発な意見交換が行われたとの感想が複数寄せられました。

平成28年度湘南大庭地区全体集会アンケート等集計結果（参加者78人中30人回収）

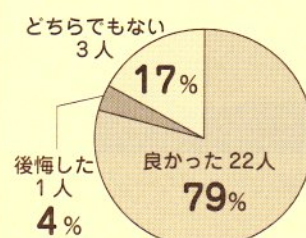
【性別】回答者（23人）



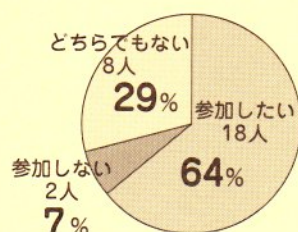
【年齢】回答者（全員）



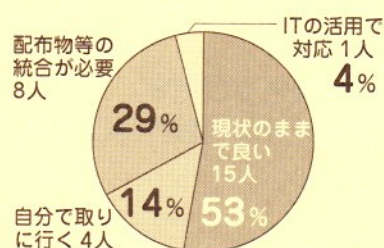
【参加した感想】回答者26人



【次回参加しますか】回答者28人



【回覧・配布物】回答者28人



興味を持ってよく見る情報は
（回答者30人中、複数回答可）

①福祉介護関係	22人	⑥交通	6人
②ボランティアに関する情報	15人	⑧防災関係	16人
③まちづくりに関する情報	13人	⑩警察関係	2人
④青少年に関する情報	5人	⑫自治会関係	10人
⑤防犯	12人	⑬公民館	2人
⑦生活環境	10人		
⑨国・県・市	10人		
⑪学校関係	4人		



全体集会を終え、来年度に向けて！



広報・IT グループ

リーダー 柳澤 知子

私たちが暮らすこの街は、高齢者が多くなり、毎日の生活にもいろいろな工夫が必要になってきました。無理なく今の状況を保つために、個人で、家庭で、近所で、とできることを考えなければなりません。その中に情報をうまく活用することも大切なことです。

現在情報のほとんどは、全戸配布や回覧板によるものです。

一枚一枚には事業の予告や報告、地域の状況等大切な内容があります。

自分のため家族のため目を通してほしいと思います。そのためには、地域の情報を、最小限にまとめたものを各戸配布としていくことが必要であると考えています。

また、見たいときにいつでも見られるものとして、「湘南大庭地区ポータルサイト」があります。開設されて4年がたち、各団体特色のある画面となっています。しかし、これに携わる人の負担は大きく、また新たに携わる人の確保もむずかしくなっていることを考え、育成、スキルアップの勉強会を実施していきます。地域の情報の発信と受信をスムーズに行えるよう更に『私たちのできること』を模索していきたいと思います。



健康増進グループ

リーダー 水島 茂雄

* 地域内の高齢化対策の実現に向け本年度行う3項目の事業提案の趣旨説明を行った。事業活動は各人に当てはまる内容であり熱心に聞かれたと思う。

(1) ラジオ体操の普及推進事業では既に多くの方々が実践していることでも具体的活動に共鳴する方が多かったのではないかと思います。

(2) 無料健康なんでも相談会は、相談内容の意図が理解され訪問の増加を期待しています。

今後“健康寿命の延伸”を最大テーマにラジオ体操を湘南大庭地区内で多くの賛同者・団体を増やしたいと思います。

また、無料健康なんでも相談会は、全体集会で出された意見を参考に継続の内容を委員間で議論し方向性を見い出すつもりです。



高齢化対策グループ

リーダー 岡田 敦

全体集会では次の3項目を各自治会・町内会に導入検討していただきたくお願いをした。

1. 孤独死・急病・大怪我発生の早期発見のため「一人暮らし高齢者安否確認」の実施
2. 高齢者の孤立防止上「地域住民同士のふれあう機会」の実施
3. 高齢者の見守り活動推進と身近な高齢者相談相手として「高齢者支援窓口」の設置

「高齢者支援窓口」という呼称は、もっと適切な名称にしたいと思っているが我々は、最初に、この役割を担っていただける有志を募集し現状の福祉に関する研修を受けていただきます。

その後に民生委員・児童委員と連携して各自治会・町内会において推進が必要な福祉活動を行っていただければと夢を描いております。

どなたでも推進会議の傍聴ができます

傍聴には、決まりごとがありますが、地区住民の代表がどのような議論をしているのか実際にご覧いただけます。詳細は、湘南大庭市民センター地域担当(Tel 87-1111)までお問い合わせください。

◆◆意見・質問用紙で提出された主な意見◆◆

～全体集会に関するもの～

①発表内容に関するもの

- ・郷土づくり推進会議を昨年知った。
- ・郷土づくり推進会議でのテーマが認識できた。
- ・全体的に突っ込みが足りない。
- ・質問したいと思うことが何もない。
- ・自分から行動することの大切さに気づかされた。
- ・市内他地域のまちづくり活動との連携・相互活用を。
- ・地域への健康増進課などの市の関わりが見えづらい。保健医療センターなどの活用もできそう。
- ・健康体操を実践しているが、その良さを再認識した。
- ・見守り体制の活動を推進して欲しい。
- ・新たに見守り組織をつくるのではなく、自主防災組織の機能拡大で対応できるかと思う。
- ・高齢者支援窓口の自治会内での位置づけが不明。
- ・課題解消は、各自治会が独自に取り組むには難しい
- ・民生委員と住民とのセーフティネットの具体例について示して欲しい。
- ・配布物が多く統一して欲しい。

②開催運営に関するもの

- ・地区内の自治会やボランティア団体の活動を調査し、必要であれば全体集会などで発表して欲しい。
- ・高齢者対策 G ではテーマが広すぎる。
- ・自治会役員への参加要請をもっとやった方が良い。
- ・手話が良かった。

～湘南大庭地区のまちづくり活動について～

- ・歴史、文化的活動も組み入れて欲しい。
- ・郷土づくり推進会議の各グループにおいて、今後の活動を住民に委ねるだけでなく、委員が率先垂範をしたり、必要な人材確保に積極的に取り組む必要があると思う。
- ・認知症対策は今すぐ対策を考えて欲しい
- ・現在、共助の話が中心だが自助についての啓発活動が大切
- ・ネットスーパー等も高齢者が自らの工夫で使えるようになると良い

～そ の 他～

①感想

- ・配布物は読んでない方が多い。
- ・現状では、地域の情報に関しネット等を活用する方は少ない。
- ・IT 化の推進は必要。
- ・自治会組織のないマンションなので配布物は必要です。
- ・パソコン使用の可否で情報の選択が異なる。

②その他

- ・高齢者のために、茅ヶ崎・藤沢方面の便を増やすと共に、市民病院やショッピングセンターを経由するよう工夫して欲しい。
- ・最近、自治会及び管理組合等の入居者組織が協力し、①高齢者対策②防火防災の組織づくりを進めている。
- ・広報ふじさわ等の配布物の文字を大きくして欲しい。

今回、意見・質問用紙でご提出していただいたものは、多数の方が同一意見となったものは、ございませんでした。また、紙面を見た方が、全体像が把握できるよう、全体集会の課題に関わる内容を中心に抽出し、整理しております。

※整理及び紙面の都合上、御意見の表現については要約・簡素化しております。

